シンポジウム

これからの地域共生社会について

～日常のつながりをどう結び直すか～

NPO法人Teto Companyと地域包括支援センターの実践を手がかりに、日常のつながりや支え合いのあり方、大学・大学生が地域で果たす役割について考えます。



日時 12月5日（土）10:00～12:30

会場 別府大学 メディアホール

対象 地域住民・学生・福祉関係者等

定員 100名

参加費 無料　事前申し込み不要



登壇者

1. **平川孝史**氏（別府市北部地域包括支援センター）
   複合的な生活課題に向き合う相談支援と地域とのつながり
2. **奥 結香**氏（NPO法人Teto Company 代表）
   『ひとりぼっちをつくらない社会』を目指す居場所づくりと共生の実践

進行・対話　**今尾 顕太郎**
（別府大学文学部人間関係学科）

プログラム

10:00–10:10	開会・趣旨説明
10:10–10:45	地域包括支援センターの実践報告
10:50–11:30	NPO法人Teto Companyの実践報告
11:30–12:15	登壇者による対話・参加者との意見交換
12:15–12:30	まとめ・閉会

主な論点

- 孤立や困りごとに地域でどう気づくか
- 「支える人／支えられる人」を固定しない関係をどうつくるか
- 専門職の支援と住民のゆるやかなつながりはどう補い合えるか
- 大学生が地域の一員として関わり、卒業後にもつながりを残すには何が必要か

主催　別府大学文学部人間関係学会